

小学校一年生のある男の子が、数人の子

どもたちと砂場遊びをすることになった。

ところが、この子どもは砂で山をつくった

り、トンネルやダムを作ったりということ

ができない。他の子どもと、夢中になつて

いっしょにやることができないのである。

この子どもはやたらに水をまきちらし、体

中どろだらけにし、山やダムをふみつぶし

て興奮してしまい、どうやって砂遊びをし

たらよいかわからないのである。知的には

能力の高い優秀な子どもであるが。

最近の都市の子どもは、家庭でも、幼稚

園でも、思う存分に砂遊びや泥あそびのよ

うなことをする機会がなくなつてきてい

る。水で遊ぶことはどこでも禁止される。

汚さないように、ルールを守つて、という

ことが、親からも教師からもまず注意され

る。この結果は、どうやって砂遊びをして

よいかわからず、思う存分に力を出す方

法を知らない。ただ興奮し、無茶苦茶に暴

を、経験していないための欠陥である。

以前には、家庭では子どもは遊ぶ場所を

もっていたし、土や自然は子どもの心を開

放させてくれた。しかし、いまでは空地が

あつても子どもたちはどのようにして遊ん

だらよいかを知らない。このような、現代

の幼児の生活の一般傾向をみるにつけて

も、幼稚園は子どもたちに、子どもの生活

を与える場とならねばならないことを痛感

する。幼児のときから、子どもの心を小さく

小さく育ててしまうのではなく、大きな心

の素地を養わねばならない。教育は、子ど

もを束縛するものではなく、子どもがより

大きく生きる力を与えるものなのである。

本誌第七号 森田宗一「真実と愛の極み」

の文章のうち、5頁の左の歌の個所を・の

ように訂正し、誤植をおわびいたします。

汝が死刑ついに確定となりし日の放心の

目よ馬鈴薯の花

秋づけば淋しからぬや冬くれば獄寒から

んとすぎし八年

歌により目ざめし感謝つきせぬと吾れへ

の遺言聞きて泣きけり

幼児の教育 第六十七卷第九号

九月号 © 定価八〇円

昭和四十三年八月二十五日印刷  
昭和四十三年九月一日発行

東京都文京区大塚二ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内  
発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売

所フレーベル館にお願いたします